

フジコナカイガラムシ

英名: Japanese mealybug

学名: *Planococcus kraunhiae*



新梢に移動した幼虫(4月下旬)



富有のつぼみ上に寄生する成虫(5月中旬)



卵塊を抱えた成虫(5月下旬)



若齢幼虫に群がるアリ(6月中旬)



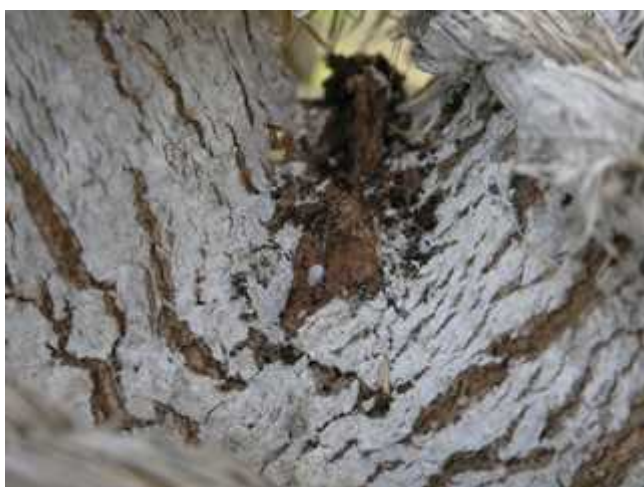
富有のへた下に潜り込む(8月中旬)



すすを生じた様子(9月中旬)



吸汁痕が赤く変色(10月中旬)



粗皮や誘引用の縄の下で越冬する幼虫

生態と防除

発育経過：雌・・・卵→幼虫→成虫(無翅)
雄・・・卵→幼虫→前蛹→蛹→成虫(有翅)

加害部位：枝幹、果実

越冬形態：幼虫

発生回数：年3回

＜孵化幼虫発生時期＞

第一回→6月中～下旬

第二回→8月上～中旬

第三回→9月下～10月中旬

防除対策：畑でよく観察し、孵化幼虫発生時期に的確に薬剤散布を行う。
特に、第一回目は発生時期がそろっているので、6月下旬の防除を徹底する。
粗皮削りを励行する。